

# 浩友会だより

発行：遠藤ひろし後援会（浩友会）代表 山村正樹  
事務所：市川三郷町市川大門127番地 : 055-272-0330  
ホームページ：http://www.enyo.co.jp/koyukai/  
メール：kouyukai@enyo.co.jp



遠藤ひろし議員

## 議会の会議録がインターネットで閲覧できます

議会の会議録は永久に保存され、議会事務局において閲覧できます。  
7月からは、インターネットを利用して本会議の議事録を公開しています。発言をした人物やことばからの検索も可能となり利便性も向上しました。  
なお、利用状況は7月から9月までで、1,496件という実績です。

# 議会改革が前進

議会改革検討委員会

20年4月に立ち上がった「議会改革検討協議会」は、5回の会議を終え9月24日から特別委員会になりました。

### これまでの改善点

1 閉会中でも委員会を開く事ができ迅速対応を可能にしました。

2 委員会審議の一般傍聴を受け入れる体制を整えました。

3 一般質問のきまりを再検討しています。

今後は、委員会審議の方法を整えるとともに透明性を高め、市民の皆様と意識が共有できるような取り組みます。

議会は町の意思決定機関

議会は二元代表制の一翼で、町政監査と意思決定がおもな責務です。これらを議会が勝手におこなうわけではなく、常に市民の皆様と共にあるべきです。議論され、ものごとが決まっていくなかで結果を市民の皆様と共有していなければならず、議会の透明性と情報発信が重要です。

議会の公開、広報紙、インターネットなどを活用して情報共有に心がけます。

議会の透明性を高めることと、議会審議の方法を整え市民本位の議論ができるように検討しているのが議会改革です。

こんな質問を町にしました。  
(6月、9月議会)

# 一般質問

町立病院の実態を町民に示し、経営者意識を共有すべき。  
市川高校との連携を活かしたまちづくり。  
学校の通学区域は自由な選択を可能にすべき。  
高齢者の金融実態を把握し、周知活動を。  
お年寄り向け通信情報紙を発行すべき。  
行政区に軽微な道路・水路補修費を移譲すべき。  
積極的な新規就農施策の推進を。  
不登校の実態はいかがか。  
小規模高齢化集落の対策は。

## 一般質問より

### 町立病院

町立病院は、市場サービスの少ない地方に高度医療を提供した使命を終え、新たな時代に直面しています。経営実態を町民に公開し、病院経営を町民との共有意識とすべきだと考えます。

- 1 病院経営の情報公開を積極的にして、経営者意識を共有する。
- 2 病院経営の権限と責任を明確にし、コスト意識を醸成する。
- 3 人件費比率70%と言う問題の取り組み次第で黒字転換も可能。

これらの角度から町の考えを質しました。「公立病院改革ガイドライン」は地域の医療を考へていません。安易な統廃合は地方軽視です。そこで、しっかりとした経営体制を充実していかなければなりません。

## ピックアップ

### 少子高齢化社会

#### 国土利用計画

町の土地利用について、第1次総合計画と同じ平成28年度までの計画です。目標人口2万人の居住を確保するために、公営住宅、旧来からの住宅地利用、約40haの新しい住宅地など基盤整備を推進します。

農用地、道路、住宅地など本町の国土利用の計画を策定しました。

#### 小規模高齢化集落

国土形成計画において、地域の集落は、水源や森林を守る存在とし、存続できなければ統合・編入してでも国土を守る体制を維持しなさい。という指針で、地方にとっては厳しい内容です。

集落内だけの力では不可能で、地域やNPOなどの組織、都市部との連携が不可欠です。

#### 児童遊具61基撤去

町管理の公園遊具158基を点検したところ、21公園で61基の遊具が危険遊具と判定され撤去します。中でも市川中央公

園は全ての遊具が対象となり撤去されます。公園整備も新たな時代に直面しているといえます。今後は、まちの癒し空間としての整備も必要だと考えます。